

平成30年度

ほおの木っ子

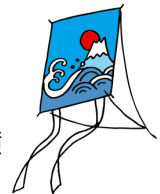
喜多方市立第二小学校 学校だより
平成30年9月7日(金) 第21号
発行責任者 校長 石田 秀喜

<笑顔いっぱい/元気いっぱい/夢いっぱい ~やり続けて本物にしよう・こつこつがコツ!~>

「失敗は成功のもと」を教える

以前、ある県の小学校の研究発表会に行ったときのことを思い出しました。この学校は、いわゆるエリートの子どもが集まっていると言われている学校でした。(何をエリートというかは疑問ですが・・・)

この時は、**図工の「大たこ作り」の授業**を参観しました。この授業は、たて・横2メートルもあるたこを作るというものでした。授業が始まると、子どもたちはわいわい話しながら、班ごとに協力してノコギリ、ナタ、ナイフを持って大たこ作りに取り組んでいました。その姿は、その頃自分が担任していた学級の子どもとあまり変わらないものでした。ただ違っていたのは、先生の指示に対して集中して聞き、敏速に動く、いわゆる「**けじめ**」のある学習態度でした。



午後の、授業についての話合いの時、参観されていたある先生から、「午前中子どもたちが作ったたこは飛ぶと思いますか?」という質問がなされました。それに対して授業をされた先生は即座に「**きっと飛ばないでしょうね。そこで、どうしたら飛ぶたこが作れるか子どもたち自身に考えさせて、再度作らせます。**」と答えました。

すばらしい答えだと思いました。自分などは、最初から成功させることを前提に、様々な手立てを用意して授業をしてしまいがちです。この学校は、「**失敗は成功のもと**」の原理を子ども自身に理解させ、身に付けさせる授業を進めているのだと思いました。

わからない・できないところから学習は始まります。やってみて、うまくできなかつたり、わからなかつたりしたときに、もう一度悩んで、考えて、やってみるといった「**学び**」をきちんと子どもに保証していかなければと考えています。

新しいパソコンが入りました

このたび、本校に設置されているパソコンの入れ替えがあり、最新機種のパソコンが合計33台導入されました。一番児童数の多い学級に対応できる台数が設置されており、一人1台で学習できるようになっております。



調べ学習やプレゼンテーションソフトを使つての発表などで活用しています。併せて、インターネットやEメールの利用のマナーなど情報モラルについても学年の発達段階に応じて指導しています。今後は、新学習指導要領の実施に伴い、プログラミング学習も導入されることとなり、それに向けた準備を進めていきます。

第1回漢字検定(10/27)

受検希望者が今日現在で50名です。この検定を通して、目標に向かって挑戦する気持ちをもつことや、漢字に対する興味関心を深める機会にして欲しいと思います。

PTA教養部の皆様
当日のご協力どうぞ
よろしくお願ひいた
します。(揮)